会計関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和７年８月２２日（金）　午後１時５７分から午後２時３３分

２　会　場　愛知県自治センター大会議室

３　当番市　田原市

４　出席者　県・・・会計課　課長　　伊藤　祐司
　　会計課　課長補佐　熊澤　　聡
　　市・・・名古屋市会計室会計課　課長　二谷　康之　始め３７名
　　（欠席：高浜市、岩倉市）
　　市長会事務局・・・武本　　恵　　福井　直也

５　内　容

（１）開　　会　市長会事務局　福井　直也

（２）あいさつ　会計課　課長　伊藤　祐司
［要旨］
・日頃より県政の運営、県証紙の取扱いについての協力に感謝する。
・全国的に公金収納の見直しが図られる中で、証紙制度を廃止する都道府県が増加している。本県では県民の利便性向上の観点から、多様な収納方法を確保するため、証紙とキャッシュレス決済を併用する方針としている。本年１月２０日から県民事務所、県税事務所など、県施設の窓口においてキャッシュレス決済を開始した。
・金融機関からの手数料に関する要望や定期預金の運用方法、総合収納システム事業者の事業撤退など、会計業務において自治体が直面している課題は多岐にわたっている。自治体ごとに事情は異なるが、本日のような機会を通じて情報を共有することが、よりよい対応策の検討につながるのではないかと考えている。
・公契約条例について、本県では公契約を活用した政策推進や公契約に従事する労働者の適正な労働環境の整備を図り、地域社会の発展に寄与することを目的として平成２８年３月に愛知県公契約条例を制定した。県内市町村では、本年４月１日現在で、２０市町が条例を制定しており、条例以外の要綱等に

おける取り組みも４市が実施している。会計局では、公契約条例を所管する管理課が市町村の相談対応をしているので、何かあったら問い合わせしていただきたい。

（３）議　　題

【議題１】旅費の支払方法について（春日井市提出）

＜提案市趣旨説明＞

春日井市においては、旅費の支払いは、原則、概算払による現金で支給し、後日精算をしている。最近、移動にタクシーを利用したなど、個人のカード支払いも見受けられる状況から議題に挙げた。

議題に挙げた時点では、カード支払いは今回限りの条件付きで許可していたが、相談件数や取扱件数が徐々に増えてきたことから、カード支払いもやむを得ないというところで調整中である。

各市の回答を参考にしながら事務を進めていきたいと考えている。

＜議長の説明＞

各市の回答について、

①チケット購入の際に現金払以外の支払方法を認めているか

・現金払以外の支払方法を認めている　１８市

・認めていない　１６市

・その他（支払方法を定めていない等）　４市

また、認めている市の多くは「支払方法の規定はない」という回答であった。

②指定している支払方法以外で支払いを行っていた場合の対応

・個別に対応

・領収書の添付までは求めていない

・証拠書類を添付しているが支払方法の確認は行っていない

などの回答があった。

各市の詳細については、資料１を確認いただきたい。

＜各市の補足説明＞

なし

＜追加質問＞

なし

＜愛知県からのコメント＞

愛知県では、旅行者本人の旅行代金の支払い方法の規定は特に定めていない。

【議題２】金融機関の手数料について（春日井市提出）

＜提案市趣旨説明＞

手数料については、今後、改定要望が金融機関から増えてくるということで、他市の状況を確認したく議題に挙げた。春日井市では、ゆうちょ銀行と名古屋銀行から改定要望があり、対応は未定と回答している。指定金融機関である大垣共立銀行からは、今のところ改定要望はなく、情報収集を継続していきたい。金融機関からの要望がこれから多くなると思うが、近隣市町と他県の状況（大垣共立銀行は本店が岐阜にあるので岐阜の状況）を見ながら検討していきたい。

＜議長の説明＞

各市の回答について、

①窓口収納手数料に係る要望の有無

・要望有　３４市

・要望無　　４市

多くの市が金融機関から有料化又は手数料改定の要望がきているという回答であった。各市の詳細については、資料２を確認いただきたい。

②振込手数料の改定依頼の有無

・要望有　　３市

・要望無　３５市

要望有と回答している３市についても、令和６年１０月から振込手数料の支払いを行っている状況となっている。

＜各市の補足説明＞

なし

＜追加質問＞

なし

＜愛知県からのコメント＞

愛知県では、窓口収納手数料については、正式な要望を受けていない。振込手数料については、指定金融機関からの要望に基づいて、令和６年１０月１日に手数料の改定を行い、無料から自行宛は４５円、他行宛は１５０円（いずれも税抜き）となっている。

【議題３】基金などの定期預金による運用方法等について（豊川市提出）

＜提案市趣旨説明＞

豊川市では２３の基金の定期預金の事務手続きを、年２０件程度行っている。「入出金口座の内訳を考える」、「各金融機関で手続きの仕方が異なっている」、「口座名義人の会計管理者が異動した時の変更手続き」など、多くの事務が煩雑になっている。もう少し違った方法がないか検討したいと考えている。また、この１、２年、定期預金の預入先の口座が１金融機関に偏る傾向にあり、基金の約５７％を１金融機関に預けている。リスク分散を検討するために、他市の現状把握をさせていただきたく議題に挙げた。

＜議長の説明＞

各市の回答について、

①会計管理者名義の普通預金口座

・複数の口座を管理している市が大半

・基金用の口座は、「まとめて管理している市」と「基金ごとに管理している市」があるとの回答であった。

②定期預金の分け方、定期預金件数、預入先決定方法

・一般会計等の定期預金は、資金に余裕のあるときに、指定金融機関や入札により定期預金を行っている市が多数

・基金の定期預金は、「一括運用を行っている市」と「基金単位で行っている市」があるとの回答であった。

③金融機関の倒産などに対応するためのリスク管理

・ディスクロージャー誌等による財務指標の確認

・借入額に応じた預入

・同一金融機関に集中しない対応をとっている

・資金運用に関する基準や方針を定めている

などの回答があった。

④その他、定期預金による資金運用で工夫していることや、各市の詳細については、資料３を確認いただきたい。

＜各市の補足説明＞

＜清須市＞

資料８ページ（２）に、「一般会計について、余裕があれば定期預金に預け入れを行っている」を追加。

＜追加質問＞

なし

＜愛知県からのコメント＞

愛知県では減債基金等での債券運用を除いて、各基金をとりまとめて一括運用を行っている。基金の定期預金は、急な資金需要による取崩しに備えて、預金単位は、１口５０億円としており、現状では７１件を運用している。見積り合わせにより利率の高い預入先を選定しているが、金融機関の倒産等のリスクに備えて経営状況を毎年確認している。指定金融機関、又は県債等の相殺が可能な金融機関に限定している。

【議題４】コンビニ収納委託業者の見直しについて（碧南市提出）

＜提案市趣旨説明＞

碧南市ではコンビニ収納委託業者は、三菱UFJニコス株式会社にお願いしている。５月か６月頃、コンビニ収納委託業者の三菱UFJニコスが撤退するらしいという話を税務課から聞いた。他市では文書で撤退する話があったと聞いたが、噂の段階で真意がはっきりしないため、直接三菱UFJニコスに問い合わせたが、担当者が不在でよくわからないという回答だった。最近になって担当者と連絡がつき、撤退することを電話（口頭）で聞いた。来週、担当者が碧南市に来庁して説明をすることになっている。いつ撤退するのか、代替業者もまったくわからない状況なので、各市の状況を伺いたい。

＜議長の説明＞

各市の回答について、

①コンビニ収納業者名は、大半の３４市が三菱UFJニコス株式会社

②契約の担当部署

・会計課が担当している市　８市

収納課が契約を担当している市が多い状況

③令和７年度の契約方法は、ほとんどの市が随意契約

④令和７年度の契約期間

・令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの市が大半

中には「長期継続契約」をしているという回答もあった。

⑤令和７年度の契約金額は、大半が三菱UFJニコス株式会社と契約していることから、ほとんどの市が、基本料は税別５，０００円／月、処理料は税別７３円／件という回答であった。

⑥令和８年度の契約方法

・随意契約　１５市

・未定　　１８市
・その他（長期継続契約期間中等）　５市
⑦その他課題や検討事項については、令和１０年度に三菱UFJニコス株式会社がコンビニ収納代行業務を撤退するということで、次の業者選定が課題となっている市が多い状況となっている。
各市の詳細については、資料４を確認いただきたい。

＜各市の補足説明＞
＜尾張旭市＞
資料２ページ目、（２）の契約担当部署に収納課を追加。税については収納課、それ以外の料金については、会計課で行っている。（５）の手数料について、７４円となっているが、７３円に訂正。

＜追加質問＞
なし

＜愛知県からのコメント＞
愛知県では、MUTBOの総合収納システムを利用していないため、特に影響を受けていない。県税などの業務ではコンビニ収納業務を株式会社電算システムなどに委託をしている。

【議題５】総合収納システム（MUTBO）からの切替え等について（日進市提出）
＜提案市趣旨説明＞
総合収納システムからの切替えについて、各市の進捗状況を伺いたい。
本市は市税や住民基本台帳等のシステムは、システム会社の関係で標準化が遅れていて、令和９年１０月頃に実施を予定している。そのため、総合収納システムの切替えも同じ時期に行う予定。各市の総合収納システムの切替えの時期、詳細、口座振替授受代行業者の委託について、先行で進めている各市の状況をご教示いただきたい。

＜議長の説明＞
各市の回答について、
①総合収納システムの切替え時期
・使用していない　１０市
使用している２８市のうち、
・予定を含め切替え時期の具体的な記入がある市　２５市

・未定　３市

②切替え時期の詳細

・自治体システム標準化と同時　１０市

・財務会計システムの更新に合わせて切替え　２市

・その他（総合収納システムの契約満了や終了まで使用する等）

③切替えに伴う口座振替授受代行業者の委託

総合収納システムを使用している市の状況

ア　委託（予定）の有無

・委託予定有　２４市

・委託予定無　　４市

イ　委託（予定）時期

・予定を含め切替え時期の具体的な記入がある市　１５市

・未定　９市

ウ　契約方法

委託予定有となっている２４市の状況

・未定又は検討中　１５市

・その他（一般競争入札、指名競争入札、随意契約等）

各市の詳細については、資料５を確認いただきたい。

＜各市の補足説明＞

＜岡崎市＞

（１）、（２）、（３）の回答について、令和１０年となっているが、令和９年に訂正。

＜追加質問＞

なし

＜愛知県からのコメント＞

愛知県では、議題４でも言ったとおり総合収納システムを利用していない。

【議題６】その他

＜あま市からの質問＞

議題５について、今年度総合収納システムの切り替えで、標準化システムへ消込をするデータをもらうと思うが、データの整合性がとれなくて、うまく消込ができないと聞いたが、何かわかれば教えていただきたい。

＜東海市回答＞

東海市では総合収納システムの廃止は、今年度ではなく、８年度末から９年度にかけて行う予定だが、消込データの済通の部分がMUTBOからTOPPANエッジに変わるにあたって、元号とか改元変化がされない状況を確認しているので、消込データの整合性を合わせるための改修や対応するプログラムを準備しなければいけないということで対応にあたっている。

（４）次年度当番市の決定　愛西市

（５）閉　　会　市長会事務局　福井　直也